

手術室で全身麻酔下の手術を受け、手術室で橈骨動脈ラインを確保する予定の
患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に対するご協力のお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター看護部では、倫理審査承認後から「特定行為研修修了看護師が行った特定行為の実践に基づく現状分析」の臨床研究を実施いたします。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる調査にご協力いただいた方への新たな負担は一切ありません。また研究協力は自由意思であり、不参加による不利益はありません。

本研究への協力を望まれない患者様および本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

【研究課題名】

特定行為研修修了看護師が行った特定行為の実践に基づく現状分析

【研究の目的】

特定行為研修修了看護師が行った特定行為の実践における現状を明らかにすることで、成果や課題が見出される可能性があります。そのため、特定行為の質の向上につながるための一助となると考えます。

【対象となる方】

倫理審査承認後に全身麻酔下で手術を受け、手術室で橈骨動脈ラインを確保し、術後 ICU・HCU へ帰室する予定の方です。対象の方で研究不参加を希望される方は、2026年3月31日までに下記問い合わせ先まで連絡をしてください。

【使用する検体・診療情報】

対象の方の電子カルテから、患者属性(手術日、診療科、年齢、術中体位、既往歴)や手術割振(部屋、何例目)、手術室で橈骨動脈ラインを挿入した日時、抜去理由、再確保理由、固定テープの貼り直しの有無の情報を使用いたします。

【研究期間と参加予定人数】

この研究は当院臨床研究倫理審査委員会承認後、病院長の許可日（2026年1月24日）から2027年3月31日までの期間で、40名の方にご協力いただく予定です。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定できる個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう通し番号などで匿名化されたのち解析を行います。また、使用した検体やカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【データの保管と二次利用】

この臨床研究によって得られたデータは、鍵やパスワードなどで保護し、第三者へ漏洩することがないように厳重保管され、研究の中止あるいは終了後5年または最終公表3年のいずれか遅い日まで保管されたのち、適切に廃棄されます。また、保管したデータを使用して、新たな研究を行う場合(データの二次利用)には、当院の臨床研究倫理審査委員会において、新たに臨床研究実施の可否が審査され、許可された場合にのみ実施されます。その場合には当院ホームページ(<https://dept.dokkyomed.ac.jp/dep-k/shien/offer/02.html>)に情報を公開する予定です。

【結果の公表】

この研究の研究成果は2026年度に開催される院内看護研究発表会、院外看護系学会もしくは研究会で発表予定ですが、その際も個人を特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター 看護部手術室 師長 齋藤恭子

【問い合わせ先】

埼玉県越谷市南越谷 2-1-50

獨協医科大学埼玉医療センター 看護部 手術室・HCU

研究担当者：齋藤恭子(手術室師長) ksaitou@dokkyomed.ac.jp

小林美織(特定看護師) miori-k@dokkyomed.ac.jp

連絡可能時間：月曜日～金曜日 8時～16時 休診日は除く

以上